



# 新富士ロータリークラブ会報

ROTARY SERVING HUMANITY

— 人類に奉仕するロータリー —

R I 会長 ジョンF.ジャーム  
第2620地区ガバナー 生子 哲男  
新富士 R. C. 会長 赤 渕 浩 雄  
幹事 仲 澤 千 尋

事務所：富士市平垣本町8番1号  
例会場：ホテルグランド富士内  
TEL(0545)61-0360  
例会日時：毎週火曜日  
12:30~13:30



## 第1248回例会 (2016. 11. 1)

司 会 篠原 一恵会場監督  
ソング 「奉仕の理想」

四つのテスト唱和・本年度新富士RCテーマ唱和

RI テーマ唱和

### 会長挨拶

本日の富士ニュースの1面は、『51年目への1歩』とあり、岩淵の雨乞山中腹から新たに建設されている楽座の観覧車を手前に左に雲の上に聳える富士山、そして広がる富士市の写真。

『富士山の頂が雪化粧を始めた。冬の訪れを感じさせる富士山が見守る富士市は今日で誕生から50年を迎えた』とあり、昭和41年に富士市、吉原市、鷹岡町が合併して新しく富士市が誕生したことを伝えていきます。又、平成20年11月には富士川町とも合併、更に大きく発展しました。

来年の3月まで記念事業が多数開催される様ですが本当に大切なことは、『今まで見過ごしていた富士市の魅力を再発見し、新たに見出された魅力を発信していく節目となることに期待したい。』と結ばれています。

私達も、この富士市を次の世代の方々が住んでみたい住んでよかったと思える町になる様な奉仕活動を展開していきましょう。

6日曜日は『サイエンスプロジェクト in Fuji』です。子ども達に夢と希望を与えましょう。



会長挨拶  
赤渕浩雄会長



出席委員会報告  
和田三郎出席委員



スマイル報告  
木村憲司親睦委員

### 幹事報告

①例会臨時変更のお知らせ

- ・沼津柿田川RC 11/ 7(月) 移動例会 場所：泉の館
- ・御殿場RC 11/ 5(土) 50周年記念例会  
11/10(木) 休会(11/5例会に振替)

②11月のロータリーレートは1ドル=102円。

(10月のロータリーレート=102円)

③NPO法人静岡犯罪被害者支援センターより、講演会のお知らせ 受信回覧

④ロータリーの友 11月号、ガバナー月信 11月号 各配布

⑤週報受信回覧 御殿場RC



### 出席報告

例会回数	計算会員数	出席者数	欠席者数	MU	出席率
第1248回	30	19	11		暫定63.33%
第1246回	30	22	8		確定73.33%

#### 《本日の欠席者》

雨森 和彦君	長谷川 勝君	井上 晴雄君
久保田元久君	斉藤 寛明君	坂口 勝一君
佐野 昌宏君	鈴木 清久君	渡邊 哲男君
川村 武君	鈴木 一也君	

#### 《他クラブへの出席者氏名》

(理事会) 林 和子君

### 私のスマイル

赤渕 浩雄君 原先生、10日の日は宜しくお願ひします。本日は富士市制50周年記念日です。  
堀井 健治君 サイエンス、仕事で出られません。すみません。

### プログラム予定

11月29日(火) クラブ協議会  
(地区大会報告) ・理事会

12月6日(火) 年次総会 (役員選出)

長原 幹君 小さな秋も見ないのに、北海道では大雪です。

小串 民義君 先日は富士マンドリンクラブの素晴らしい演奏会ありがとうございました。楽しかったです。

原 睦雄君 6日サイエンスご協力をお願いします。

高橋 孝行君 今日から、11月です。いよいよ行楽シーズンです。

和田 三郎君 久しぶりの出席係で、あせています。

本多 脩身君 6日のサイエンス、宜しく願い申し上げます。

林 和子君 すがすがしい秋ばれが来る事を祈ります。

小山 哲君 久しぶりに室内楽の生演奏を聴きました。とても豊かな気持ちになりました。

木村 憲司君 今年もあと2ヶ月となりました。無事に12月1日に77才の誕生日を迎えられそうです。

## 第2回ガバナー補佐公式訪問 変化の中のロータリー

静岡第3分区分ガバナー補佐  
前島 正容様

先日、母校の中学校で「キャリア教育」の講演をしました。

現在ある仕事の約半分は、20～30年後に全く新しい仕事に変わってしまうだろう。という現実があります。代表格はパソコンに象徴される「IT革命」と言われています。

間もなく自動運転や、現金を必要としない時代がやって来るかもしれません。

私がロータリークラブに入会した26年前は「ロータリークラブ」をみんなが知っており、ステータスがあり、ポリオの撲滅など「世界で良いことする」社会の模範とされていました。しかし「プロ野球・大鵬・卵焼きの時代」は去り、ロータリーの環境は様変わりしました。

NPO法人など多くの社会奉仕団体が誕生し、ロータリークラブの存在そのものが、薄くなってしまったことも一因ではないか、と言われます。

なぜ今、ロータリークラブはルールを変えてまで「会員の増強と財団の寄付」を叫ぶのでしょうか？

その理由は明確で、世界に良いことをし続けるには「人材と財源」が必要だからなのです。

まず、ロータリーの公共イメージの向上を駆使し「世界で良いことをしている」ことを多くの人に知ってもらい、それらを通じて、共に行動できる人を求めているのです。

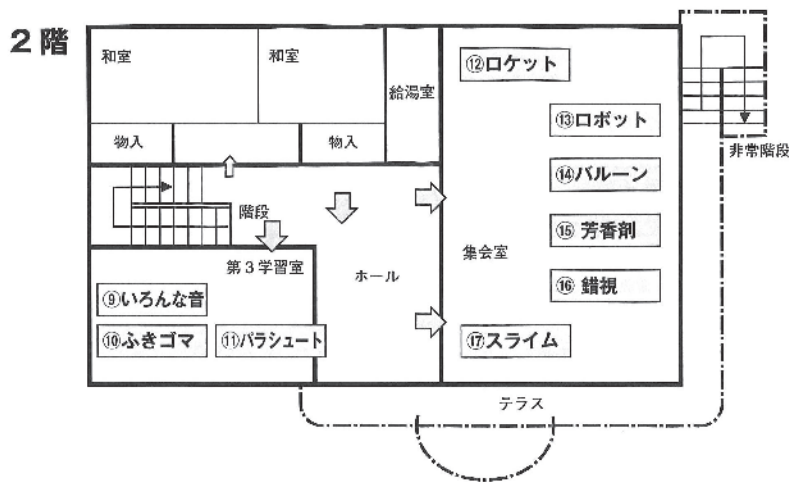
さらに、世界で良いことをし続けるには多くの財源が必要です。その基本的な財源の原点が、100年を迎えた「ロータリー財団」の存在です。

来年、静岡第3分区分では3月25日に財団セミナーを企画いたしました。是非とも耳を傾けていただき、ロータリーの価値観を再構築していただけると幸いです。

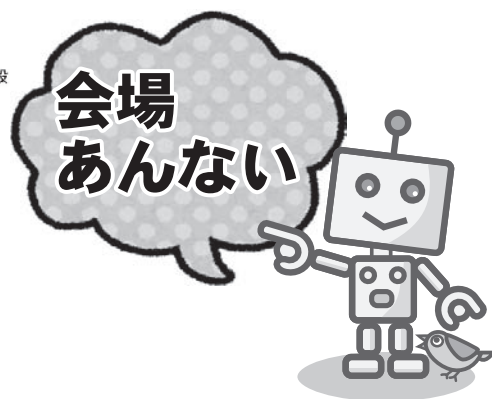
結びに

素晴らしい人格者が揃った「ロータリークラブ」。このご縁を、職業奉仕に、社会奉仕に有益なツールとしてご活用ください。

## 第11回 サイエンスプロジェクト in Fuji について



会場：須津まちづくりセンター



原 睦雄会員

